



高専初の小型人工衛星

都立産業技術高専

ものづくり工学科・吉田喜一

高専学生が作る小型人工衛星打ち上げのニュースが、5月17日付け東京新聞で大々的に報じられました。来年の夏にH2Aロケットで打ち上げられます。もともとの目的（温室効果ガス観測）とは別に、空きスペースで相乗りする人工衛星を募集していました。宇宙航空研究開発機構（JAXA）が選んだ6件のうちの1つが本校の人工衛星でした。1辺が15センチメートルの立方体で、重さ約3キログラムです。宇宙から地球の写真を撮るのですが、その人工衛星の姿勢制御を行う技術が評価されたと思っています。高専生が人工衛星を作るのは日本で初めてのことです。快挙といって良いでしょう。高校生世代でも人工衛星が作れるというのはすばらしいことです。

7月14日（土）のNHKテレビの

「おはよう日本」でも報じられました。

先生、学生のインタビュは大変好感の持てるものでした。いろいろな方からテレビを見たよと声をかけられました。この人工衛星の特徴は荒川区内の中小企業の多大な援助・支援・共同で作られることです。荒川区内の松田金型（株）の社長さんもインタビュで支援を語られました。



東大阪の中小企業で作る「まいど1号」、東京大学、

東北大学、香川大学、ソラン（企業）

の人工衛星とともに、必ず期待に応えてくれると思っています。これからが大変な作業になります。NHKロボットコンテスト（ロボコン）や鳥人間コンテスト（とりコン）とともに夏休みが集中的な製作期間になります。学校のそばにおいでの際は学生諸君の作業を覗いてください。

E-mail: kyoshida@kouku-k.ac.jp

TEL 3801-145 内線 544 FAX 3801-9898
0145 荒川区南千住 8-52-1

都立航空高専機械工学科

吉田喜一



交通事故を防いで、楽しい夏休みを

いよいよ、児童・学生の皆さんは、夏休みに入つたようです。遊び、買い物、あるいは塾通いなど、街の中で子供たちが動き回る機会も多くなります。

ところで、私は、仕事や所用の関係で、近所をクルマで走ることはありません。その時、しばしば横丁から飛び出してくる子供や、信号を無視して横断してくる自転車（これは大人も多いのですが）にヒヤリとさせられることがあります。

また、本来ならば子供に正しい交通ルールを教えなければならぬ大人までもが、違反を犯していることもしょっちゅうです。先日など、区役所の前の広い明治通りを、小さな子供を連れた母親が無理やり横断している場面に遭遇して、唾然としたものでした。すぐ横に歩道橋があるというのに…

万が一にも、事故になつてしまふと、双方のどちらが悪いとか保険がどうのこうのと言う以前に、自分がとても痛く辛い思いをすることを「分かっていない」人が多いような気がしてなりません。

わが街・荒川区は、概して路地が入り組んでいたり、建物が密集していたりで、見通しの悪い交差点が多いという問題を抱えています。人も自転車もクルマも、交通ルールを順守することが、事故を減らす唯一の手立てと言えます。

例えば、「交差点では一時停止をしていますか?」「暗くなつたら、自転車はライトを点けていますか?」「横断禁止の所を、無理に渡ろうとしていませんか?」といったことを、お子様のいるご家庭では、ぜひ話し合ってみましょう。どうか、無事故で楽しい夏休みでありますように!



【消費生活アドバイザー

佐藤 祐一郎】

◆メガネのサトウ◆

南千住5丁目43の13 コツ通り

TEL 03 (3806) 4930

★営業時間のご案内★

平日・土曜: AM 10時~PM 7時30分

日曜・祝日: AM 11時~PM 6時30分